

野中式事例検討会を学ぶ

講師：前山 憲一氏

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 事務局次長

令和2年2月18日（火）

三重県総合文化センター 中研修室

～終了いたしました～



講師 前山 憲一氏

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 事務局次長

令和2年 2月18日（火）

13:00～17:00（12:30受付開始）

場所 三重県総合文化センター
生涯学習棟4階 中研修室（津市一舟田上津部田1234）

対象 医療・福祉・保健関係者等（定員40名）

事例検討会で得られるものとは何でしょうか。
ひとつの事例に目をつけて思いを巡らし、その人を理解しようとするなかで
新たな気づきを得る、忘れていた視点を取り戻す、少なかった方向性が広がっていく…
そして、終了後は誰もが充実感を持ちかえり、日々の業務に繋げていく。
当センターではそんな事例検討会の開催を目指し、本研修を企画しました。
当日は「野中式事例検討会って、何？」と疑った講義に加え、
実際に事例検討を行い、その特徴を体感していただきます。
皆さまのお越しをお待ちしております。

【お申込み・お問合せ】 津市基幹障がい者相談支援センター
TEL 059-272-4577（平日9時～17時（年末年始を除く））
FAX 059-253-1646
E-mail tsu-kikan@athena.ocn.ne.jp

お申し込み期限： 2月12日（水） FAXの場合は裏面をご活用ください。

講義と実際の事例検討会で構成された研修でした。野中式事例検討会を初めて体験する人、何度か体験したことのある人、様々な立場の参加者が1つの事例に向き合いました。

「寄って集って、その人を幸せにする」ために必要な対象者理解。それには、徹底的なアセスメントや、不足する部分への仮説と検証の繰返しが重要なこと。皆で考えを出し合うことで、大きく理解がすすむこと。実際に事例検討会をやってみたからこそ学べたことが多くありました。

日々の業務の中で事例検討会を繰り返して行っていくことの大切さも再確認した方が多かったようです。

研修後は「野中式をもっと知りたい」「またやりたいね」との声が聞かれました。